

循環器内科後期研修

- 研修責任者名 循環器内科部長 足立孝好

- 概要

八尾市立病院は、380床を有する大阪府中河内地域の中核総合病院で、循環器内科として約24床を受け持っています。平成16年に新築移転してからは、診断・治療機器も一新し、救急患者、PCI患者共に増加傾向にあります。

八尾市立病院の特徴として、バランスのとれた研修があげられます。全体としての症例数は、決して多くありませんが、大病院によくみられる循環器の中での細分化（カテだけ、エコーだけ）といったことがなく、偏らない十分な研修が受けられます。

さらに、内科他部門との垣根が低く、スタッフ全員がいわゆる“教え好き”で、コンサルテーションがしやすいのも八尾市立病院の特徴としてあげられます。また、学会発表についても積極的で、研修期間中には、最低限年に2回程度の学会発表をしてもらいます。

今後、大きな飛躍が期待できるまだ若い循環器科です。皆さんの若い力で一緒に大きくしていきましょう。

- プログラムの特徴

八尾市立病院は、日本循環器学会教育施設であり、3名の循環器専門医の下、虚血性心疾患を中心に様々な循環器疾患を経験出来る。また、希望すれば、他の内科専門科を自由にローテートすることも出来る。

平成16年に新築移転したばかりであり、循環器関連のほぼ全ての最新鋭機器が揃い、専門医資格取得についても十分な配慮がなされている。

具体的には、以下の内容を目標として研修を行う。

- ・循環器疾患の全般に亘り概ね単独で診断し、治療方針を決定できる。
- ・非観血的検査（エコー、R I、負荷心電図、ホルター心電図、冠動脈C T）を単独で解釈できる。
- ・循環器疾患の救急症例についてその診断や治療をリーダーとして行える。
- ・冠動脈造影、ペースメーカー植え込みは、指導医の立会いの下、単独で施行できる。

- 主な設備と医療内容

ICU 5床 (CCU 2床)

血管造影装置 東芝 心エコー フィリップス3D

C T 東芝16列マルチ MRI フィリップス1.5T

血管内エコー ポストン3D R I 日立

IABP PCPS 脈波

● 取得できる認定・専門医

内科学会認定医・専門医・循環器学会専門医

● 主な症例数（平成22年1月1日から12月31日まで）

急性冠症候群 31件 心エコー 1,962件 心臓カテーテル検査 234件

PCI 53件 ペースメーカー 14件 アブレーション/EPS 9件